

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日 時 令和2年11月25日

場 所 3年2組教室

指導者 小川登美夫

1 単元名

「防災DVDを作ろう！」～地震・津波から身を守るために今できること～

2 単元の目標

- (1) 地域の災害に関心を持ち、地震や津波への備えが大切であることを理解することができる。
- (2) 災害から身を守るために、どんなことをしたらよいかを調べ、考え合い、学びを深めることができる。
- (3) 家族や友だちなどみんなと安全について、話し合いや助け合いができるとともに、生命の尊さについて考えることができる。
- (4) 災害発生時には、大人の指示に従い自分の命を守るなどの適切な行動ができる。

3 単元設定の理由

(1) 単元について

本校区は、多くが海岸線の近辺にあり漁業が中心の地域である。南海トラフ地震における津波高の最大値は3.4mと予想され、全国でも最大とされている。しかし、1学期に実施した防災意識調査結果からは家庭や地域の災害時における防災・減災意識や家具固定等の防災対策については、約40%の家庭が何も手立てを講じていないという結果であった。また、防災意識は高いが防災・減災をどう行えばよいのかわからないといった回答もあった。

本校では9年前の東日本大震災を教訓とし、児童の防災意識を高めるために避難訓練を定期的を実施してきた。その積み重ねにより校内で発生した場合は地震への正しい初期対応や津波から自分の命を守るための行動ができると考えている。しかし、1日の6割以上が校外で過ごすことになることを考えると、家庭内や登下校中に起きるかもしれない地震・災害についての対応や家族内の防災・減災についての話し合いは必須の課題である。

南海トラフ地震は大きな地震の揺れのため、家具が倒れて家そのものが倒壊するなど家の中にはたくさんの危険がある。また、避難場所までの経路もどういう状態になるか想像させたい。そうして今まで気づかなかった家の中の危険性に気づき、より安全に避難し、自分や家族の命を守ろうとする気持ちや態度を子どもたちに培うことは重要であると考え、本単元を設定した。

(2) 児童について

3年生の子どもたちは、友だち同士のトラブルが少なく、与えられた課題に対して取り組むことができるクラスである。学級の児童26人中の10人が校区外から自家用車で登下校しており、学級のまとまり感はやや弱い印象を受ける。また年度当初より新型コロナウイルスの対応により、グループでの話し合い活動は積極的に行っていない。1学期には校区探検を行い、本校近辺の防災マップを作成した。また、地震が起こった時、家庭内の危険に気付かせるために家庭内の安全チェックを行い、危険について調

ることができた。

しかし、実施した意識調査の結果、子どもたちは地震が起こった際、学校ではどうすればいいかを理解できていたが、学校の行き帰りや地区で遊んでいる時、家で過ごしている時になると、どうしたらいいか解らない児童は20%、避難した後に家族と集合場所を決めていない児童は72%いた。家で防災について話をする機会があまりないと思われる。

(3) 指導について

本単元は、南海トラフ地震について「防災BOOK」やDVDを使って地震や津波の恐ろしさや被害を過去の大震災の写真や映像を見て学習し、今まで学んできた命の大切さについて想起させる。

次に、「南海トラフ地震から身を守るためにできること」をテーマに各グループで「防災DVD」を作成し、家族に防災・減災の大切さを知らせることを最終ゴールとすることを確認し、グループごとに「テーマ」を考え調べ学習に取り組む。

計画の段階で家族会議を開くことの必要性やどのような内容がより効果的になるかをインターネットの活用や図書資料、聞き取りなどを行うことで、より理解を深めていきたい。

本時では、「防災DVD」の基になる発表を行い、他のグループから、無くしたら良い部分や付け加えたらよいところなどの意見を聞きさらに防災意識を深めていく。また、改善点が表現の仕方だけに意見が偏ることが無いように話し合いの視点をおさえてから授業に入る。

本時の学習後は話し合いで出た考えたことをもとに、より本市の防災に特化したクオリティの高い内容を目指し、振り返りを行いながらDVDを作成し各家庭に配布する。DVDの視聴を家族で行うことで、今後の家族会議のきっかけになることを期待している。

このような取り組みを通して、保護者にもさらなる防災意識を高めてもらい、家庭内で防災ルールなどを取り決めてもらおうと考えている。

まとめとして、家庭でDVDを見てどのような話し合いがなされたのかを学級全体で共有することで自分の周りにも目を向け、調べて得た知識や対策を伝えられるようなポスター作りや新聞づくり等を通して、自分の住んでいる地区にも発信させていきたい。

4 研究テーマとの関連

本校の研究テーマは「自ら考え判断し、行動できる児童の育成」である。年間を通してグループ同士で話し合いを深め、振り返りを行いながら深い学びの達成を目指していく。調べたり、発表等の表現をしたりすることで自らが考え判断できる基盤を作ってきた。話し合いでは、自分の考えをうまく話せない児童がいることから、話し合うポイントや国語や他の学習とも関連付けながら内容の充実を図っている。

5 単元の評価規準（小単元における評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・災害の内容についてインターネットや図書資料で調べたり考えた内容について、まとめたり整理したりすることができる	・災害を想定し、その時どのように行動すべきかを考え、説明することができる	・自然災害について関心をもち、災害対策について意欲的に考え、調べることができる。疑問に思ったことを追究することができる。

6 指導と評価の計画（20時間）

時間	学習内容	【 】 評価基準
1	・DVDや震災時の家屋や町の様子の写真を見て命の大切さを考えるとともに南海トラフ地震や津波等の知識を得る。	【知・技】津波や地震について考えている。(ノート・発言・発表)
2	・防災DVDを作成することを知り、どのような内容のものにするか考える。	【主】どのような内容にすればよいのか、そのように伝えればよいのか意欲的に考えている。(発言・発表)
3 ～ 6	・調べたことを整理したり、まとめたりする。その中からどのような内容を発表するのか考え、練習する。	【思・判・表】地震から身を守ることに ついて、まとめたものをビデオ撮影を通して的確に表現している。(ポートフォリオ・発言・発表)
7 ～ 9	・ビデオ撮影した防災DVDを視聴し、それぞれに足りないところを修正する。 ・新たに資料を収集したり、模造紙にまとめたりしながら表現の仕方を工夫する。	【思・判・表】他のグループのよさや改善点を指摘している。(ポートフォリオ・発言・発表)
10 ～ 14	・各グループでそれぞれが調べたことを発表し他のグループから助言を受ける。 ・他のグループからの助言を受けたことを考慮して発表内容を修正する。	【思・判・表】自分の発表内容を振り返りより良いものにしようとしている。(発表・ワークシート) 【主】防災・減災につながる内容を厳選し、さらに防災についての学習を深めようとしている。(発表原稿)
15 ・ 16 本時	・地震に備えてどんなことが必要であるのかを整理し、まとめたことを他者が分かりやすいように、発表をする。 ・他のグループからの助言を受け、内容を改善する。	【思・判・表】他のグループが作成した内容を見て、適切な意見や考えが言える。また、その内容を受けて改善するよう努めている。(ポートフォリオ・発言・発表) 【主】防災・減災につながる内容を厳選し、さらに防災についての学習を深めようとしている。(発言・ワークシート)
17 ～ 18	・改善した発表内容をビデオ撮影する。 ・他のグループのよかったところや自分自身の防災意識の変革について考える。	【思・判・表】防災DVDの基になる内容を吟味し、伝えたいことを的確に表現している。(発表・ワークシート)
19 ・ 20	・学んだことを学年のみんなや家庭・地域の人に伝えよう！	【主】自分の家で話し合わされた内容を積極的に伝えている(発言・発表)

6本時の展開（16時間／20時間）

（1）本時の目標

防災DVDの基になる発表を聞いて改善点を話し合せることにより、知識を広げたり、さらに良いものにしようと探求したりすることができる。

（2）展開

学習活動	時間	教師の指導・支援	評価規準【】評価方法（） ☆防災教育の視点
1 各グループが考えた防災についての発表を見る観点を知る。	3分	○どういった視点で発表を見るかを確認する。 ①地震が起きた時に命を守れる内容か。 ②伝わりにくいところはないか。 ③家族会議につながる内容か。 ・無くしたらよいところ ・付け加えたらよい内容 ・自分のグループに取り入れたい内容 ○どうしてなのか理由も言わせるようにする。	☆家具の固定等のスキルだけではなく防災意識を高める必要性を主に考えている。
2 課題を確認する。	2分		
発表を聞いて、直したらよいところを伝えよう。			
3 グループの内容を見て気が付いたところを発表する。 ・個人で思考する。 ・班の中で話し合って改善点を発表する。	32分 5分	・4つのグループの防災DVDの基になる発表を聞く。 ○1グループずつ発表し、質問や意見を受ける。 ○直したらよいところは理由をつけて発表させる。 ○自分のグループに取り入れたらよいところの発表も認める。 ○意見をもらった後にどのような点を改善するか振り返りの時間を確保する。	【思・判・表】他のグループが作成した内容を見て、適切な意見や考えが言える。また、その内容を受けて改善するよう努めている。（ホワイトボード・発言・発表） 【主】防災・減災につながる内容を厳選し、さらに防災についての学習を深めようとしている。（発言・ワークシート）
4 本時を振り返り、次時につなげる。	3分	○今日学習したことから「気付いたことや工夫」について感想を聞くことで、自分のグループの内容を見直すきっかけにし、次の学習につなげる。	

7 板書計画

前面の黒板

11月25日 単元ゴール ぼうさいDVDを作ろう。
めあて 発表を聞いて直したらよいところをつたえよう。

<防災DVDの視点>

- ①地震が起きた時に命を守れる内容か。
- ②伝わりにくいところはないか。
- ③家族会議につながる内容か。
 - ・無くしたらよいところ
 - ・付け加えたらよい内容

○グループ

- ・良かったところ

- ・直したらよいところ

移動式ホワイトボード（2つ）

- ・各グループの発表に必要なものを添付したもの

児童が発表するために用意した
もの